

市の考えを問います

一般質問

5月30日（4議員）

宮寄 和洋（一問一答）……………15 ページ

1. 公共インフラの適正管理
2. 行方市民の政治・行政への参画と選挙

山口 律理（一問一答）……………16 ページ

1. 庁舎建設及びなめがた地域医療センターについて
2. 新庁舎建設庁舎管理について
3. 霞ヶ浦ふれあいランド再生整備事業について
4. 人事管理と採用、退職の推移について
5. 霞ヶ浦浄化

伊勢山 仙寿（一問一答）……………16 ページ

1. 過疎対策
2. 企業誘致
3. 循環型社会

鈴木 裕（一括後一問一答）……………17 ページ

1. 高齢者支援
2. 廃校の活用
3. 学校教育

6月2日（3議員）

小林 久（一括後一問一答）……………17 ページ

1. 総合戦略の改定
2. 農業振興

阿部 孝太郎（一問一答）……………18 ページ

1. 地域づくり
2. 保育環境

高橋 正信（一括後一問一答）……………18 ページ

1. 将来に希望の持てるまちづくり

7名の議員が登壇し、執行部に対し方針等を問いました。

紙面の内容は、質問・答弁共に議員自らが要約・執筆、寄稿したものを掲載しています。



宮寄 和洋 議員

行方市民の政治・行政への参画と選挙

問 子ども議会のような取り組みは行ったことがあるのか

答 建設部長 大規模な陥没等の事故が発生した場合は、下水道事業の業務継続計画に沿って対応いたします。

問 市内で下水道管の陥没事故が発生した時の対応は

答 水道課長 行方市では30ng／lが検出された浄配水場がありました。地下水から県水に切り替えています。

問 水道水のPFOS、PFOAについて

答 総務部長 消火栓が1200箇所ほどあるので、年間の数を決めながら、今後検討いたします。

公共インフラの適正管理

答 教育部長 平成28年に行方市中学生「夢」議会を開催しました。

問 子ども議会を開催するようなビジョンはあるのか

答 教育長 即答はできないので検討させていただきます。

問 若年層に対しての政治参画教育のビジョンはあるのか

答 市長 主権者教育という形になると思います。議会と協力をしないといけない部分が多くありますので、提案していただければ市としても進めていきたいと考えています。

問 審議会や委員会への女性登用について

答 企画部長 現在女性比率21.5%ではありますが、行方市男女共同参画基本計画に基づき40%を目指していきます。

問 パブリックコメントはどれくらいあるのか

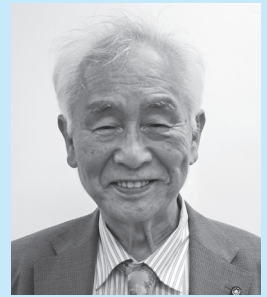
答 総務部長 令和6年度は市民から意見をいただいたものにつきましては、男女共同参画基本計画で1件、地域振興施設（道の駅）基本計画で28件となっております。

問 選挙人名簿のPCへの入力による転記について

答 選挙管理委員会書記長 PCへの入力を前向きに検討します。

問 移動投票所は実現可能か

答 副市長 すぐには難しいのかなというのが現状だと思います。



山口 律理 議員

① 庁舎建設及びなめがた地域医療センターについて

- 問** 鹿行医療圏の場合は、他の地域より救急搬送が15・5分もかかっている。なめがた地域医療センターが救急業務を再開していれば、相当短くなるということは想定される。市長、救急救命業務が復活するように骨を折ってもらえないか
- 答** 市長 できる限り、救急の対応を求めたい。
- 問** 応急措置が出来るだけの体制を整えるのは、そんなにお金は必要ないと思う
- 答** 市長 議員言つとおり心配なところがあるが、近隣と連携し県にも要望していきたい。
- 問** 遠隔医療を奨励しているが
- 答** 市長 遠隔、もしくは在宅、身近に医療があるということを実行していきたい。
- 問** 新庁舎の建設地はどこか
- 答** 市長 現在のなめがた地域医療センターの敷地内と指定している。

問 なめがた地域医療センター本館は、救命救急センターを含め、全部病院部分として残すのか

答 市長 庁舎としての活用については、今後、建設手法を議会及び市民会議において選定をもらうが、なめがた地域医療センター本館及びその利用者用駐車場については、医療機能を確保する観点において、庁舎としての利用は考えてない。救命救急センターについては、建設手法の一つとして、庁舎として活用する案を検討している。

問 新庁舎建設後の旧庁舎はどうするか

答 市長 北浦庁舎及び玉造庁舎は、旧耐震基準の建物であることから、新庁舎の供用開始後に解体し、敷地については有効活用の方法を検討していく。また、麻生庁舎は、新耐震基準の建物であることから、新庁舎建設後は、多種多様な施設の利用の方法を考えている。

問 3庁舎とも庁舎機能を残してもらいたい。ワンストップでいろいろ申請を出来るようにしてもらいたい

答 市長 玉造庁舎、北浦庁舎、麻生庁舎の使い方は、残すというよりは、今後、皆さんと話し合いをしながら進めていくべきものだと思います。

② 過疎対策



伊勢山 仙寿 議員

問 過疎対策と成果について

答 市長 「人口規模の維持に向けた有効な施策を掲げ雇用の確保及び産業振興」「出会い・結婚から子育て支援の充実」「安全で住みよい生活環境の充実」「情報発信及び誘致受け入れ体制の充実」の4つの基本目標としております。令和7年度において、各事業の進捗及び効果を検証し、新たな計画の策定に取り組み予定としております。

答 企画部長 過疎対策として、そこにある資源をどのようにうまく活用して前向きに取り組むことや施設があるなどハード面が加われば素晴らしい地域になっていくと思っております。

答 経済部長 昨年度「焼き芋サミット」なめがた」を開催しました。今年度は「全国」という冠をつけた形でやっていこうと内部、

③ 企業誘致

で調整をしているところです。そして、マスメディアにも取り上げられ本市の認知向上にもつながりました。（さつまいも課と焼き芋サミットについて新聞に11回、NHK全国版にも流れました。）

問 企業誘致これまでの施策と成果

答 企画部長 これまでに県、関係機関、地域プロジェクトマネージャーとの連携により、企業訪問、東京における県人会への参加、市長のトップセールス等各方面において誘致活動を行ってきました。過去5年間で上山鉾田工業団地に2社、学校跡地に1社決定しています。

④ 循環型社会

問 循環型社会ふん尿からリンは回収できるのか

答 経済部長 リン資源は有限であり将来的な供給不安が懸念されています。ふん尿中には、リンが豊富に含まれており、これを回収して利用する事は可能で、循環型社会実現に向けた重要な取り組みとなっています。



鈴木 裕 議員

高齢者支援

問 高齢者支援について

答 市長 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、見守り活動や買い物、通院などの生活支援サービスの体制づくりの充実を図ってまいりたいと思います。

問 運転免許証返納後の対策について

答 市民福祉部長 現時点、本市では、免許返納を要件とする公共交通での優遇制度は設けていない状況です。今後、高齢化率の上昇や高齢者のみの世帯が増加すると見ており、個々の状況に応じて様々な取り組みも必要となってくると思います。関係課と連携しながら、進めてまいりたいと思います。

廃校の活用

問 旧行方小学校の跡地利用について

答 総務部長 売却を念頭に置きつつも、地元住民の皆様からの要望等の継続調査を進め、有効な利活用に努めてまいります。

学校教育

問 中学生海外派遣研修事業について

答 教育部長 未来を担う中学生を海外に派遣し、語学研修およびその国の文化、風俗、習慣等に慣れ、国際感覚を養うとともに、広い視野から郷土の国家、国際社会に対する理解を深めることを目的に実施しております。

問 ラーケーションの取り組みについて

答 教育部長 児童・生徒が家庭や地域における体験活動等を企画し、平日に保護者等と活動できる機会を確保することを目的に、年5日以内に限り、保護者の申請により、児童・生徒が登校しなくても欠席とならない日をラーケーションと設定し、昨年5月1日から導入しています。

総合戦略の改定

問 これからの10年、行方市の課題

答 市長 これまでの進捗及び効果を検証するとともに、今後市民の声を反映し、先の将来を見据え「笑顔で住み続けたいまち 行方」の実現に向け総合戦略を策定し、課題解決に向けた各種事業を実施します。全体像の中で総合戦略として、1つ目、医療の問題、病院だけでなく、在宅医療が各市民のところに届く訪問看護を行っています。2つ目、パーキングエリアにおいて交流人口を増やし、地域経済を上げていきます。3つ目、下水道、上水道、道路のインフラ、光回線のインフラを長寿命化整備をしていくことが重要なものになります。

農業振興

問 水田農業の政策

答 経済部長 課題としては、生産者の高齢化と担い手不足が挙げられます。高温耐性米の作付け推奨、新規機械導入支援など生産性の向上、経営所得の安定化や収益性の高い手に魅力ある持続可能な水田農業と地域環境維持に向け、取り組んでまいります。

問 施設型農業政策で、遮光ネット、遮熱シート等を機械と同じように、補助額をパーセントで対応してはいいかがか

答 経済部長 予算の算定は難しくなると思いますが、そちらの検討も進めます。

問 イノシシ対策

答 経済部長 「鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律」に基づく「行方市鳥獣被害防止計画」では、令和7年度から3年間の計画として、カモ、カラス、ハクビシン、アライグマ、イノシシを対象鳥獣に指定しています。個体数の増加に捕獲数が追いついていないのが現状です。



小林 久 議員

地域づくり



阿部 孝太郎 議員

問 行政区の現状とこれからのあり方について

答 市長 行政区は市民参加によるまちづくりを推進するための場であり、市政の政策決定においても重要な役割を果たすことから、引き続き市政への市民参画の機会のさらなる拡充を図るとともに、担い手の育成・支援などに積極的に取り組むことで、持続可能な地域づくりを進めます。

答 総務部長 行政区の加入者減少など、地域コミュニティーの維持に大きな課題が生じています。令和2年以降は年間100戸を超える減少で推移しているところですが、これらの課題に対応するため、区長会などで意見を伺いながら、課題解決を考えているところです。地域の特色を生かした活

力ある地域づくりと、支え合いのあるコミュニティー活動への支援を引き続き行い、「笑顔で住み続けたいまち 行方」の実現に向けて取り組みます。

問 子ども会について

答 教育部長 今後、行方市子ども会育成連絡協議会及び青少年育成行方市民会議と連携しつつ、引き続き子どもたちを支える取り組みに対して、子ども会育成会が自走して運営できるようにサポートを続けていきます。子どもたちが自ら考え、自ら行動し、成長する場を行方市子ども会育成連絡協議会と共に進めていきます。

保育環境

問 保育環境の充実に関して

答 市民福祉部長 育児休業中に係る子どもを保育施設に預けられる期間について「子が2歳に到達する日」を削除し、「育児休業の末日の属する月の末日まで」としました。また、保育認定についても、短時間認定ではなく、標準時間認定として、今年4月から適用しています。

将来に希望の持てるまちづくり



高橋 正信 議員

問 観光交流拠点の入口、旧レストランみずまる、1番目に止まる価値ある場所、あそこを手つかずに放置してあるが、いつまであのような状態にしておくつもりか

答 市長 できる限り早く、その場所については解決していきたいと思っています。

問 3月8日医療講演会の中で、JA茨城県厚生連の理事、なめがた地域医療センターの病院長から

病院の縮小、また、なくなってしまうという噂が出ているが、全くみじんも考えていませんと継続性を約束されておりました。そのことから、病院の縮小、人員体制を減らすということはないと理解しているが市長の所見を伺いたい

答 市長 現在のところ減っていないという状況はありません。今

後もJA茨城県厚生連に対して、来年度以降も同じような体制を整えるよう要望をかけていきたいと思っています。

問 休日急患診療所、この設置についてJA茨城県厚生連と市が協議しているというが、どのような提供体制になっていくのか

答 市民福祉部長 なめがた地域医療センターまた水郷医師会にも開設を打診しましたが、難しいということでも市が開設するという形で進んでいます。また、医師、看護師、事務員については、県内の厚生連の中でやれる方に手を挙げていただき、週1回、日曜日の開設ということを進めています。

問 市営住宅において、高齢化や単身世帯が増加傾向にある中、国においては、2011年同居親族要件を廃止している経緯があります。行方市としても、同居親族要件を廃止できないものか伺いたい

答 市長 今後、この条例・要綱自体をよく照らし合わせていかなければならない。本市において、高齢者人口38%を超えた中で、当時と状況が変わってきていますので、見直しを図っていききたいと思います。